

学校評価

1 本年度の学校評価

本年度の重点目標	校訓「百練自得」のもと、知・徳・体の調和のとれた青少年を育成する。 — 「通いたい、通わせたい、通ってよかったと思える学校」づくり —		
項目(担当)	重点項目	具体的方策	留意事項
総務部	<ul style="list-style-type: none"> ・ P T A、同窓会とのコミュニケーションを図る。 ・ 開かれた学校づくりを推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同窓会、P T Aとの連携を図り内容の充実。 ・ ホームページを利用した広報活動を活発化。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 式典、総会、公開授業等の計画、運営を円滑に行う。 ・ 学校行事の内容を随時HPに掲載し、P T Aの参加しやすい状況を作る。
教務部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校務支援システムを活用し、新しい成績処理システムを導入する。 ・ 生徒の学力向上と学習習慣の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ わかりやすく、間違いが起りにくい方法を検討する。 ・ 学習時間調査や考査の統計資料を活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育情報部と連携し、新成績処理システムを検討する。各教科担当者がスムーズに移行できる方法を考える。 ・ 教科主任者会、学年会などを通じて各教科で検討を依頼する。
生徒指導部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の交通マナーを向上をさせる。 ・ 活力ある学校生活を送るために、生徒自ら規律を守り、元気に挨拶できる意識を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自らの命は自分で守るための啓発活動と、日頃の立ち番指導を全職員で実施する。 ・ 身だしなみ指導日と日常の声かけ指導の両面から意識の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ルールを守ることができない生徒が出てきた場合は、自転車通学の禁止も視野に入れて指導をおこなう。 ・ 身だしなみ指導の具体的基準について、職員間で今一度基準の見直しと徹底を確認する。
進路指導部	<ul style="list-style-type: none"> ・ キャリア教育の観点を持ち、生徒に進路意識をもたせる。 ・ 3年間を通した進路指導体制を整備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「職業ガイダンス」・「大学出張講義」、総合的な学習の時間を利用し、勤労観や進路意識の向上を図る。 ・ 進路に関する情報を随時提供し検討会などにより進路について理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ LTおよび総合的な学習の時間と連携し、より将来にわたって自らを学ぶ姿勢を持った生徒の育成するための効果的な方法を検討する。 ・ 「進路だより」を発行し、進路情報を知らせる。 ・ 全職員へ進路に関する情報を提供し、進路に対する啓発を行う。 ・ 検討会などの内容を充実させる。
保健部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種検診、検査調査結果の活用。 ・ 校内美化に全校体制で取り組む。 ・ 教育相談の活用。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の健康づくりに活用する。 ・ 生徒の環境美化意識を向上させる。 ・ 生徒支援活動の充実。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保健室を中心として資料づくり。 ・ 校内にゴミのない環境づくり。部活動、委員会と協力した環境整備。 ・ 環境委員による清掃点検活動の充実。 ・ 教育相談活動の充実と安心できる学校生活。
教育情報部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校紹介の充実 ・ 図書館利用の活性化。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページ、学校案内による学校情報の発信。 ・ 積極的に本の紹介を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 部活動、学年などへのホームページ更新の働きかけを行う。 ・ 図書館のパソコンの積極的活用。
特別活動部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校全体が活気溢れる行事の企画運営。 ・ 部活動の活性化。 ・ 生徒会活動の活性化。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の充実感・達成感。 ・ 参加生徒数、大会結果。 ・ 役員が主導する会議の開催。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 分掌から全体への情報発信、役割分担の整理と円滑な運営をする。 ・ 側面支援と指導、顧問との連携協力を図る。 ・ 生徒主体の活動の機会増加を図る。
学校関係者評価を実施する項目 主な評価項目		<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習指導、進学指導の充実状況について。 ・ 学校行事、部活動の充実状況について。 ・ 本校に期待することについて。 	

2 前年度の学校評価
ア 自己評価結果等

前年度の重点目標	校訓「百練自得」のもと、知・徳・体の調和のとれた青少年を育成する。 — 「行きたい、行かせたい、来てよかった学校」づくり —		
項目(担当)	重点項目	具体的方策	評価結果と課題
総務部	<ul style="list-style-type: none"> ・ P T A・同窓会とのコミュニケーションを図る。 ・ 開かれた学校づくりを推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同窓会、P T Aとの連携を図り内容の充実。 ・ ホームページを利用した広報活動を活発化。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ P T A役員会・委員会との温かいコミュニケーションを図り、充実した活動ができた。 ・ H Pの更新回数を増やした結果、閲覧者数が増加した。
教務部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校務支援システムを活用し、新しい成績処理システムを導入する。 ・ 2年目となる新学習指導要領を円滑に実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ わかりやすく、間違いが起りにくい方法を検討する。 ・ 新教育課程の授業展開を各教科で工夫。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新システムではできないことも多く、かなり混乱し、また作業量も増えてしまったことが今後の課題である。 ・ 各教科で検討をし、円滑に実施することができた。
生徒指導部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の交通マナーの向上をさせる。 ・ 制服の変更について円滑に進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 警察と連携したサイクルカードプログラムに参加する。 ・ 制服検討委員会より、具体的案を提示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通マナーで近隣住民や本校職員に注意を受けた生徒数は多く、並進走行などへの意識向上は未だ課題である。 ・ 全体的に身だしなみしっかりしているが、学校指定のカーディガンと旧制服との共存が課題として残った。
進路指導部	<ul style="list-style-type: none"> ・ キャリア教育を充実させ、生徒に進路意識をもたせる。 ・ 各学年における進路指導体制を整備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「職業ガイダンス」や大学の先生からの講義、総合学習を利用し、勤労観を身につけさせる。 ・ 進路に関する情報を随時提供し検討会などにより進路について理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生において職業ガイダンスで講師や生徒からも良い評価を受けた。 ・ 2年生では大学の先生たちによる出張講義を実施し、生徒の進路意識が向上した。 ・ 7月に検討会を行い、教員間の進学に対する意識を深めることができた。 ・ 検討会などの資料については、検討を加えより良いものを作ることができた。
保健部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種検診、検査調査結果の活用。 ・ 校内美化に全校体制で取り組む。 ・ 教育相談の活用。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の健康づくりに活用する。 ・ 生徒の環境美化意識を向上させる。 ・ 生徒支援活動の充実。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 養護教諭を中心に、生徒が健康的に学校生活を送れる環境作りに活用できた。 ・ 活動場所の整備等部活動の協力を得ながら、校内の環境美化の向上に努めていきたい。 ・ 組織の充実や充実した活動ができた。
教育情報部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校務支援システムの導入 ・ 学校紹介の充実。 ・ 図書館利用の活性化。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新システムを導入し、各分掌と協力し、円滑な運営を行う。 ・ 積極的に本の紹介を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 導入することはできたが新システムはまだまだ改善の余地が多くあった。 ・ 学校案内のデザイン・構成をマイナーチェンジし、広報活動に貢献できた。 ・ ホームページについて定期的に更新はできたが、行事直後に更新できないこともあった。
特別活動部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校全体が活気溢れる行事の企画運営。 ・ 部活動の活性化。 ・ 生徒会活動の活性化。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の充実感・達成感。 ・ 参加生徒数、大会結果。 ・ 役員が主導する会議の開催。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 分掌から全体への情報発信、役割分担の整理と円滑な運営ができた。 ・ 側面支援と指導、顧問との密な連絡ができた。 ・ 生徒主体の活動の増加が見られた。
総合評価		各分掌とも、重点目標の達成に向けてよく努力した。昨年度のHPへのアクセス数が高く、本校への関心の高さが感じられた。また、進学実績も安定した結果を出すことができた。しかし、学校生活に適應できない生徒への対応や、交通マナー指導に苦慮した一年であった。	

イ 学校関係者評価結果等

<p>学校関係者評価を実施した主な評価項目</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導、進学指導の充実状況について ・学校行事、部活動の充実状況について ・生徒の規範意識の高揚について
<p>自己評価結果について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの生徒や保護者の要望として、また進学校として「国公立大学合格者数 100 名以上を目指す」ことが、本校としての一つの目標であり使命である。前年度もその目標を達成することができた。 ・全体としては生徒の出席、遅刻状況は極めて良い状況だが、一部生徒が学校生活に適応できなかった。基本的な生活習慣の確立を更に推し進めていきたい。 ・「開かれた学校づくり」を目指す上でも、HP の更新を頻繁に行い、学校行事の報告や部活動の試合結果等、学校の情報公開に努めた。 ・自転車通学者の交通マナーについて、地域住民からのご指摘がまだまだ多く、更なる指導が必要とされる。
<p>今後の改善方策について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケートから「本校に期待する項目」として、「わかりやすい授業」「学力向上」「進路指導の充実」が例年上位を占める。このアンケート結果を全職員が共有し、高い意識を持って日々の授業に取り組むことが必要である。その為にも、年間を見通した「授業研究」の充実を図りたい。 ・「開かれた学校づくり」の推進の為にも、保護者を対象に「公開授業」を実施するとともに、学年別懇談会を年 2 回開催する予定である。
<p>その他(学校関係者評価委員から出された主な意見、要望)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習時間の減少に対して、進学希望実現のためにも組織的な対応をして欲しい。 ・地域住民との関わりとして特に交通マナー指導、駅の駐輪場対策の徹底をして欲しい。 ・生徒・保護者の規範意識の高揚が、地域住民の信頼を得るためにはぜひ必要と考える。
<p>学校関係者評価委員会の構成及び評価時期</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・構成・・・学校評議員 4 名（保護者代表を含む） ・評価時期・・・2 月下旬